

報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

平成 30 年 12 月 20 日(木)15:30~17:00 懇談会

※懇談会終了後、お時間のある方は引き続きご懇談ください。

1. 挨拶

— 吉田 憲司 (館長)—

2. ニュースリリース

●みんなの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

— 園田 直子 (議長)—

3. みんな映画会「ママのお客」(第44回みんなワールドシネマ)

[詳しくはこちら](#)

本館では2009年度から、研究者による解説付きの上映会「みんなワールドシネマ」を実施しています。10年目の今期は昨年に引き続き、「人類の未来」をキーワードに映画上映を展開していきます。

今回は涙あり笑いありのイラン映画の名作を上映いたします。食卓をとおして、イランの人びと、その日常生活や社会を知りたいと思います。

日 時：2月23日(土)13:30~16:30(開場13:00)

会 場：ホテル阪急エキスポパーク 多目的ホール(オービットホール)

定 員：400名(先着順/事前申込不要(整理券配布))

参加費：無料



— 鈴木 紀 (人類文明誌研究部 准教授)—

4. 最新の研究紹介

[詳しくはこちら](#)

「世界のピラミッド大事典」

(大城 道則、青山 和夫、関 雄二 著/柊風舎)

— 関 雄二 (副館長)—

5. 研究こぼれ話

サンタクロースとなまはげ：季節と時間の感覚

11月末、秋田のなまはげをはじめとする10件の来訪神にかかわる習俗が、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。じつは、季節の節目に異界から訪問者がやってくるという習俗は、世界各地に見られます。たとえばヨーロッパのサンタクロースはその1つであり、本館にも関連する資料が展示されています。

今回は、そのいくつかを紹介しながら、それらの背後に共通して見られる時間感覚について触れたいと思います。



— 宇田川 妙子 (超域フィールド科学研究部 教授)—

6. 研究こぼれ話

みんぱくと万博

2025年の万国博覧会開催地が大阪に決定しました。1970年の大阪万博のレガシーが国立民族学博物館と言われるように、みんぱく研究者と万博はずっと浅からぬ関係にありました。大阪府・市とも関係の深い本館の人類基礎理論研究部の出口がみんぱくの研究や展示と万博の関係を解説します。



マンホールにも1970年万博のシンボルマーク

— 出口 正之 (人類基礎理論研究部 教授)—

7. 新任紹介

[詳しくはこちら](#)

東京大学大学院で博士号を取得後、公益財団法人東洋文庫、カナダ・マギル大学で研究に従事。その後、長崎大学多文化社会学部を経て現職。専門は、アフリカ大陸東部沿岸を中心とするインド洋海域史、世界史、とりわけ奴隷制や奴隷取引に関する研究。



— 鈴木 英明 (グローバル現象研究部 助教)—

8. 年末年始展示イベント「いのしし」(展示ツアー)

[詳しくはこちら](#)

今年で15回目を数える干支展。新年を迎える季節感をご来館の皆さまに感じていただき、歓迎の気持ちを込め展示を行います。日本だけでなく世界各地のいのししに関連した標本資料やパネル、写真等を展示して、人びとの生活や文化と深く結びつきたいのししを紹介する、みんなくならではの展示です。関連イベントなども開催予定ですので、ぜひご来館ください。

会 期：12月6日(木)～2019年1月22日(火)
会 場：国立民族学博物館 ナビひろば
観覧料：一般 420円(350円)、高校・大学生 250円(200円)
中学生以下 無料
※()は20名以上の団体料金。
リピーターは団体料金を適用
※本館展示もご覧いただけます。



帽子(インド)

— 丹羽 典生 (超域フィールド科学研究部 准教授)—



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

お問い合わせ

国立民族学博物館 総務課 広報係

電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@minpaku.ac.jp